

第 19 号
昭和 48 年 7 月

会

報

発行 北海道高等学校
教育研究会 事務局

札幌市中央区伏見町1872の4
札幌旭丘高等学校内
電話 561-1221番

ごあいさつ

北海道高等学校教育研究会

会長 磯 貝 芳 司

「万緑の中や吾子の齒生え初むる」という草田男の句がありますが、北海の天地にも生氣溢れるこのごろ、会員各位にはいよいよご健勝のことと存じお喜び申し上げます。

さて、去る6月の役員総会で、本年度の活動と予算が決定になりました。昨年は、本研究会の10周年が意義深く盛大に行なわれました。新たな11年は、この10年を踏まえ、研究の質のいっそうの向上、このためには「各教科部会および各地区支部の研究活動の活発化」をはかることに努力しよう、ということになりました。1月の年1回の全道大会が、それだけに終わらぬためには、会員の平常の授業を通しての実践的な研究、そしてそれが、各教科や各地区支部段階での交流がなくては、全道大会の結果は「根無し草」に終わるおそれがあります。

さらにまた、研究の充実には経費の増額の必要あり、として本年度から大会の会員参加費を500円（今は300円）に、明昭和49年度から会費を400円（今は300円）とすることにいたしました。会費各位には、事情ご賢察の上いっそう本研究会の推進にご協力下さるようお願いいたしまして、ごあいさつといたします。

漸く本会も10年を経過して、一層の発展が期待される年になりました。

今後は内容の充実を積極的にすすめることに重点がおかれ、とくに日常の実践活動に結びついた地区支部や教科部会の活動の推進が役員会で話しあわれ、確認されました。これを具体的にどのようにすすめてゆくか、それぞれの事情により困難がありましようが、一つ一つねばり強く積み重ね軌道にのせてゆくことが必要で、既に上川地区や日高、胆振地区、北空知地区のように活発に活動をつづけ、立派な成果をあげているところもあります。会員の皆様の一段の御協力をお願い致します。

このための地区支部、教科部会の運営費の増額と近頃の諸物価高騰による印刷費や郵送料、大会運営費の値上り（例えば研究紀要の印刷費は47年度1冊宛200円でしたが、49年度には264円となります）に対応して前述のように49年度まで見通して大会参加費と会費の増額が検討され決定致しました。

つきに役員会でできました本年度の事業等についてお知らせいたします。

〔昭和48年度 第1回役員会〕

(日 時) 昭和48年6月6日(水)

午後2時0分

(場 所) 札幌市中央区北3条西3丁目

雪印パーラー4階

1 経過報告 (47. 4. 10~48. 6. 6)

- 4. 10 昭和46年度事業実施報告提出
- 〃 昭和47年度事業計画書提出
- 5. 13 昭和47年度役員改選依頼
- 8 昭和47年度会員加入登録依頼
- 19 本部事務局会議
- 21 第1回役員会開催案内
- 6. 7 第1回役員会開催
- 7. 13 会報第17号発行
- 31 10周年記念誌編集座談会
- 9. 1 本部事務局会議
- 2 第2回役員・事務担当者会議開催案内
- 16 第2回役員・事務担当者会議開催
- 10. 23 第10回記念大会案内要項および関係印刷物発注
- 11. 6 研究紀要第10号原稿締切

- 11. 7 第10回記念大会案内要項、参加申込書、参加証、係、役員委嘱状、同派遣依頼状、講師依頼状、同派遣依頼状等の諸用紙発送
 - 10 第10回記念大会後援依頼(道教委、市教委、高校長協会)発送
 - 13 第10回記念大会案内“道教委だより”“公報”に掲載依頼
 - 19 第10回記念大会運営会議開催案内
 - 20 10周年記念誌発注
 - 29 文部省監査
 - 12. 1 本部事務局会議、全体講師依頼状発送
 - 2 第10回記念大会運営会議 参加申込締切
 - 8 関係方面に大会、式典、祝賀会案内状発送、紀要第10号、大会要項資料編集完了印刷発注
 - 14 祝辞依頼状発送
 - 18 講師、司会者打合せ案内状発送
 - 20 第10回記念大会運営委員、司会者、研究発表者名簿作成
 - 23 参加者集計、参加者名簿印刷発注
 - 1. 8 全体講演講師、司会者打合せ
 - 9 北海道高等学校教育研究大会第10回記念大会全体集会、同記念式典、同10周年記念祝賀会
 - 10 北海道高等学校教育研究大会第10回記念大会教科別集会
 - 1. 13 関係方面に礼状発送
 - 2. 5 会報第18号編集完了印刷発注 第3回役員会開催案内
 - 16 本部事務局会議
 - 17 第3回役員会
 - 4. 10 昭和47年度事業実施報告書、昭和48年度事業計画書提出(北海道教育委員会へ)
 - 5. 7 昭和48年度会員加入登録依頼
 - 12 昭和48年度役員補充依頼、第1回役員会開催案内
 - 本部事務局会議
 - 6. 6 第1回役員会開催
- ### 2 昭和47年度事業実施報告
- (イ) 会報第17号発行
 - (ロ) 第10回 10周年記念北海道高等学校教育研究大会
 - (ハ) 会報第18号発行
 - 第10回研究大会成果等
 - 昭和48年3月10日発行

- (二) 研究紀要第10号発刊
 昭和47年3月10日
 規格 タイポオフセット B5版 約217頁
 掲載論文集 21編(研究調査2編を含む)

(ホ) 研究調査

- ① 函館英学史の研究
 興部高校 長谷川 誠 一
- ② 修学旅行地の地理的考察
 札幌旭丘高校 沼田 武
 (以上は一カ年で完成)
- ③ 北海道高校国語科における教育工学研究実践の現状と課題
 札幌啓成高校 獅子原 正
- ④ 工業実習教育を中心とした技術教育に関する研究
 夕張工業高校 村井 猛
 (以上は47.48年度2カ年間で完成)

3 昭和47年度収支決算報告
 (会計監査報告)

4 昭和48年度役員補充
 (別紙役員一覧表参照)

5 昭和48年度事業計画

(イ) 第11回北海道高等学校教育研究大会の開催

- ① 全体集会
 ・期日 — 昭和49年1月9日(木)
 ・場所 — 北海道厚生年金会館大ホール
 (札幌市中央区北1条西12丁目)

日 程

9:00	10:00	10:30	12:30	13:30	15:30
受付	開会式	講演	昼食・休憩	講演	

- ・運営 — 本部担当
- ② 教科別集会
 ・期日 — 昭和49年1月10日(木)
 ・場所

国語部会(拓銀ホール)
 社会部会(札幌南高校)
 数学部会(北陸銀行)
 理科部会(北大工学部)
 芸術部会(市民会館)
 保体部会(札幌北高校)
 英語部会(札幌旭丘高校)

家庭部会(市民会館)
 農業部会(市民会館)
 工業部会(理美容センター)
 商業部会(北海学園大学)
 水産部会(小樽水産高校)

・日 程

	9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受付	講演または研究討議	昼食 休憩	講演または 研究討議	部会 総会	

・運 営—各教科部会担当

- ③ 研 究 テ ー マ
 ・全 体

「高等学校教育と学習指導の現在化について」

・部 会

国 語 — 古典の教材研究
 社 会 — 社会科教育の現代化とその方向
 学習を深めるねらいと内容およびその方法について
 数 学 — 新指導要領の研究と実践
 理 科 — これからの理科教育はどうあるべきか。
 保 体 — 保健体育指導上の諸問題とその研究
 芸 術 — 芸術における創造性について
 英 語 — 新教育課程の実施に伴い、授業を
 いかに改善していくか
 家 庭 — これからの家庭科教育はどうあるべきか
 農 業 — 新教育課程の実施に即応して農業
 教育の現代化を進める為に、教育
 の内容、方法をどうしたらよいか
 を研究協議する
 工 業 — 工業高校における専門教科の教育
 内容の現代化(特に教育内容の精
 選、構造化の手法について)
 商 業 — 商業教育現代化のための具体的
 問題点について
 水 産 — 水産教育の現代化
 (改訂学習指導要領における新設
 科目の指導法)

④ 講師

・全体集会

原則として中央から2名。その内訳としては、人文科学部門1名、自然科学部門1名とする。なお、希望講師（および希望演題）があれば本部事務局へ申し出られたい。

・教科別集会

各教科部会で決定されたい。（なお、委嘱状・依頼状は本部事務局で）

⑤ 大会参加料

〈次の参加料を徴収する。〉

会 員	——	500 円
非会員	——	1000 円

⑥ 受付方法

▲参加申込書に必要事項を記入の上、参加料をそえて12月1日(土)までに所属校(団体)単位で本部事務局まで申込んで下さい。

▲参加証は所属校長を通じて本人に届くようにします。

▲大会当日参加証持参の者に限り、教科ごとの受付で資料を受け取り入場します。

▲当日参加するものは、会場に余裕がある限り受け付けるよう配慮する。

(ロ) 研究紀要第11号発行

- ・規 格 — B 5 版 250 頁前後
- ・発刊予定日 — 昭和49年3月10日
- ・原稿締切日 — 昭和48年11月7日(水)
- ・原 稿 内 訳

★教科は1教科につき400字詰原稿用紙(本部規定)70枚以内、原稿の集約、審査等は各教科部会で行なって下さい。

★教職一般は一編につき400字詰原稿用紙(本部規定)30枚以内、原稿の集約、審査等は地区支部長および本部役員で行なって下さい。

★特定校に集中しないようご配慮下さい。

★研究調査は研究紀要に調査報告を掲載します。

★紀要抜刷50部は執筆者分を本部で一括発注します。なお50部以上希望の方は、各個人においてその分を印刷業者と連絡をとって直接お申込み下さい。

★紀要論文募集要項は「会報第19号」(7月3日発行)と「道教委だより」に掲載します。

★発表者が決まり次第、本部より地区支部及び教科部会を通じて必要枚数の原稿用紙をお送りします。

★原稿締切日は厳守し、以後の分は認めません。

★原稿は必ず支部、部会を経由し、本部へ直送されることのないようお願いします。

〈原稿の書き方についてのお願い〉

☆原稿用紙1枚目の1行目には『題目』を、2行目には『勤務先・執筆者氏名』を記す。

たて書原稿の場合もこれに準ずる。

☆文中、ゴジックを要するところはゴジ(朱書)、イタリックの場合は、イタ(朱書)のように下線を引く。

☆図は、白紙又は青色紙に墨又は黒インクで鮮明に書き直接凸版にできるようにする。

☆図、写真は別紙とし、余白に番号と氏名を書く。写真版が多くなるときは予算の関係上本部編集部担当者(沢田)にご連絡下さい。

☆図、写真の入るところは原稿中にはつきり指定すること。

☆原稿は原則としてお返ししません。

(イ) 会報第19号発行(7月3日)

〈内 容〉

- ・全体研究テーマ
- ・教科部会研究テーマ
- ・研究紀要要項
- ・研究調査要項
- ・事務局(本部、地区支部、教科部会)一覧
- ・役員名簿一覧
- ・昭和48年度事業計画、予算

(ニ) 会報第20号発行(昭和49年3月10日)

〈内 容〉

- ・第11回研究大会成果報告等

(ホ) 研究調査

〈昭和48年度の申込受付について〉

・申込方法

本年度の採用予定は、4～5テーマで、申込は教科関係のものは各教科部会、教職関係のものは地区支部でとりまとめ、それぞれ部会長、支部長を経由して本部事務局へ9月19日(水)までに連絡して下さい。

・研究調査の期間

研究調査の期間は、1年又は2年継続で、1年で完成のものは1万円、2年継続のものは各年度5千円の調査費が配当される。

・紀要発表

研究調査の報告は研究紀要に掲載するので、内容を400字詰原稿用紙20枚程度に要約し、教科または支部を経て、11月7日(木)までに本部へ提出する。

募集要項は会報第19号で全会員にお知らせします。

6 昭和48年度会員登録及び名簿作成について

(イ) 各学校ごとの会員名簿は3部作成し、そのうち2部は、各地区支部事務局へ会費とともに送付されます。(1部は地区支部保管、1部は本部事務局へ)

(ロ) 地区支部事務局は、地区支部内の教科ごとの名簿を2部作成し、会費とともに本部事務局宛お送り下さい。(このうち1部は整理して教科部会にお渡しするつもりです。)

※従って地区支部事務局より本部事務局宛送付

するものは

- 1 学校毎会員名簿 1部
- 2 教科部会每名簿 2部
- 3 地区支部会員集計表 1部
- 4 会費 (北海道銀行旭丘支店)

以上を7月16日までにお送り下さい。

(ハ) 追加会員があった場合についても以上の手続きをお願いいたします。

(ニ) 以上の諸用紙は、必ず黒で記入し、原簿をお送り下さい。複写を必要とする時がありますので。

7 年間行事予定表 (別紙参照)

8 本部役員、地区支部、教科部会事務担当者、本部事務局構成 (別紙参照)

9 その他

(イ) 会費、参加料の値上げについて

[昭和47年度会員登録状況]

(48.2.17現在)

部会 地区	国 語	社 会	数 学	理 科	保 体	芸 術	英 語	家 庭	農 業	工 業	商 業	水 産	計
石狩	137	173	150	170	110	35	141	37	25	79	39		1,096
道南	51	71	58	74	46	10	54	28	24	41	54	35	546
後志	38	46	35	47	39	5	39	19	50	37	46	28	429
南空知	47	46	44	66	59	13	52	26	48	41	26		468
北空知	53	63	51	66	37	16	46	21	36	51	58		498
上川	70	93	67	88	78	15	88	32	88	77	82		778
留萌	12	20	14	21	15	3	14	8	8	17	18	4	154
宗谷	21	26	16	21	15	5	17	6	7	10	21		165
網走	65	65	52	61	45	13	58	30	34	18	46		487
釧根	42	61	45	53	50	16	42	22	30	19	52	2	434
十勝	42	42	36	41	24	8	36	13	52	8	29		331
胆振	37	61	48	53	35	9	45	15	18	46	22		389
日高	24	20	18	19	12	3	10	5	11	11	15		148
計	639	787	634	780	565	151	642	262	431	455	508	69	5,923

〈昭和48年度〉年間行事予定表

(北海道高等学校教育研究会)

月	日	曜	本 部	備 考	地区支部	教科部会
4	10	火	昭和47年度事業実績報告書提出 昭和48年度事業計画書提出			
5	8 14	火 月	昭和48年度会員加入登録依頼 地区支部長、教科部会長補充 選出		役員改選	役員改選
	18	金	本部事務局会議	第1回役員会議案書作成		
6	6 20	水 水	第1回役員会		第1回役員会 役員名簿提出期限	第1回役員会 役員名簿・部会テ ーマ提出期限
7	3 16	火 月	会報第19号発行	内容：全体研究テーマ、部会研究テ ーマ、紀要論文研究発表研究調査、事 務局一覧、役員名簿一覧	会員名簿提出期限	
9	5 19	水 水	本部事務局会議 第2回役員会 教科部会事務担当者会議	第2回役員会、事務担当者会議議案書 作成 事業計画、実行予算、会員加入につ いて、全体集会、教科別集会 第11回研究大会運営について、研究発 表、研究紀要、教科別集体会場、日程 表、部会講師	第2回役員会 事業計画書提出	第2回役員会 事業計画書提出 事務担当者会議
11	7	水	研究紀要論文原稿締切	第11回研究大会講師、役員委嘱状、後 援依頼状、公報、道教委だより掲載依 頼状、大会要項発送	研究紀要論文原稿 締切	教科別講師、係、 役員委嘱状発送 研究紀要論文原稿 締切
12	1	土	第11回研究大会申込締切 第11回研究大会運営会議	祝辞依頼状	第11回研究大会申 込締切	
1	9 10 12	水 木 土	第11回研究大会全体集会 第11回研究大会教科別集会	関係方面に第11回研究大会の礼状発送	第11回研究大会 第11回研究大会	第11回研究大会 第11回研究大会 礼状発送
2	6 16	水 土	本部事務局会議 第3回役員会	第3回役員会議案書作成	第3回役員会	第3回役員会
3	9	土	研究紀要第11号、会報20号発 行	会報内容：第11回研究大会報告		

〔高教研 { 地区支部 } 事務局所在地・事務担当者名一覧〕

〈地区支部〉

地区支部	事務局校	住 所	(電話)	郵便番号	支 部 長	事務担当者
石狩	札幌藻岩高校	札幌市中央区北4条東3丁目	261-0818	060	瀬戸哲郎	星満治
道南	函館東高校	函館市柳町11番5号	52-0083	040	横田淳一	樋口隆士
後志	倶知安高校	虻田郡倶知安町北7条西2丁目	2-1085	044	柳川重雄	清水正康
南空知	栗山高校	夕張郡栗山町中央3丁目	2-1073	069-15	町田敬治	浅利俊吉
北空知	砂川北高校	砂川市焼山95	代4161	073-01	増田益之助	黒川志朗
上川	旭川商業高校	旭川市曙3条3丁目	22-3556	070	二階堂文雄	竹原重民
留萌	苫前商業高校	苫前郡苫前町字古丹別	古丹別 142	078-36	山下三郎	工藤哲一
宗谷	豊富高校	天塩郡豊富町字上サロベツ	179	098-41	高山是紀	斎藤秀雄
網走	遠軽高校	紋別郡遠軽町南町1丁目	2676	099-04	吉本昇	田中美知男
釧路	釧路北陽高校	釧路市緑ヶ丘1丁目11番8号	41-4401	085	浜頭久平	中村清
十勝	芽室高校	河西郡芽室町東3条4丁目	2624	082	西山勝	赤塚一夫
胆振	苫小牧工業高校	苫小牧市末広町5の1	2-3260	053	木村正春	菊地正昇
日高	様似商業高校	様似郡様似町大通り1丁目	6-3006	058	今井敏夫	高橋豊

〈教科部会〉

教科部会	事務局校	住 所	(電話)	郵便番号	部 会 長	事務担当者
国 語	札幌開成高校	札幌市東区元町170番地	781-8171	062	笠岡正次	上西和喜雄
◎社会	札幌東高校	札幌市白石区菊水東町3	811-0593	062	細谷 猛 (札幌南)	村上恒一 池田俊二
数 学	札幌啓成高校	札幌市白石区厚別町下野幌	891-3100	061-01	斎藤国夫	市毛 明
◎理科	札幌南高校	札幌市中央区南18西6	521-2311	060	武智省三 (札幌西)	辺見竜夫
◎保体	恵庭南高校	恵庭市白樺町48	2392	061-14	木村隆一 (函北)	小岩 勇
◎芸術	札幌旭丘高校	札幌市中央区伏見町1872の4	561-1221	064	千葉正信 (福島商)	滝沢光郎
英 語	札幌南高校	札幌市中央区南18西6	521-2311	060	細谷 猛	有村正彦
家庭	札幌東高校	札幌市白石区菊水東町3	811-1919	062	川原イト	後藤喜美
農業	俱知安農業高校	俱知安町旭15	2-1148	044	清水小十	大住 薫
工業	札幌琴似工業高校	札幌市西区菟寒1020	661-3251	063	中神 肇	清水 茂
商業	小樽商業高校	小樽市緑3丁目4番1号	22-0088	047	友田義潔	小山内養市郎
水産	小樽水産高校	小樽市若竹町9番1号	23-0670	047	斎藤一郎	野村雅夫

◎は教科部会長と事務担当者の学校の異なるもの。

〔昭和48年度 北海道高等学校教育研究会〕

本部役員名簿

(会長) 磯 貝 芳 司 (札幌旭丘)
 (副会長) 細 谷 猛 (札幌南) 川 井 信 雄 (札幌工)
 斎 藤 喜 一 (札幌北)
 (監 事) 刀 野 清 輝 (札幌啓北商) 成 田 勇 造 (岩 東)
 佐 藤 晃 一 (札幌東商)
 (顧 問) 梶 浦 善 次 (道女短大) 長 瀬 米 藏 (道女短大)

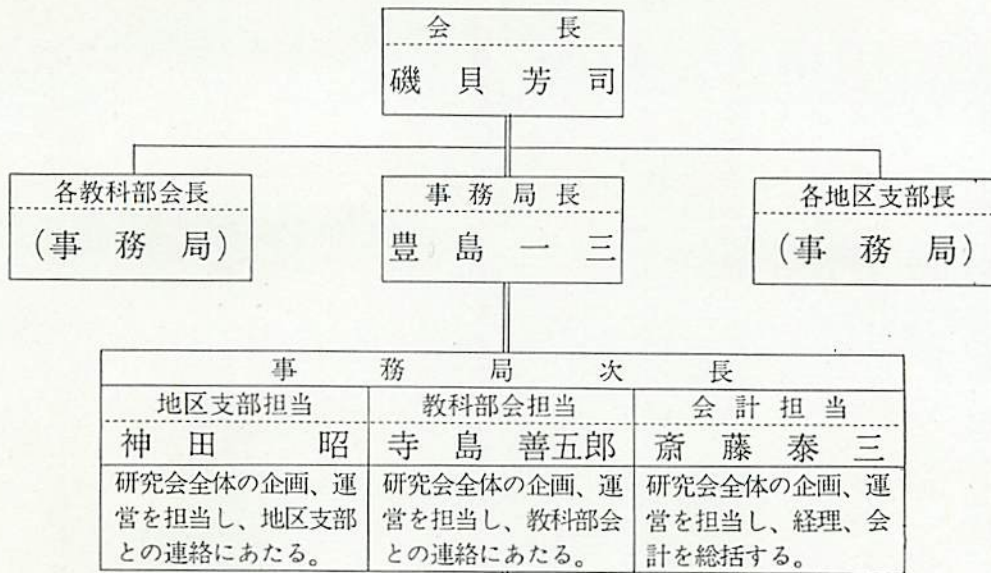
地区支部長

(石狩) 瀬 戸 哲 郎 (札幌藻岩)
 (道南) 横 田 淳 一 (函 東)
 (後志) 柳 川 重 雄 (俱知安)
 (南空知) 町 田 敬 治 (栗 山)
 (北空知) 増 田 益之助 (砂 北)
 (上 川) 二階堂 文 雄 (旭 商)
 (留 萌) 山 下 三 郎 (苫前商)
 (宗 谷) 高 山 是 紀 (豊 富)
 (網 走) 吉 本 昇 (遠 軽)
 (釧 根) 浜 頭 久 平 (釧北陽)
 (十 勝) 西 山 勝 (芽 室)
 (胆 振) 木 村 正 春 (苫 工)
 (日 高) 今 井 敏 夫 (様似商)

教科部会長

(国 語) 笠 岡 正 次 (札幌開成)
 (社 会) 細 谷 猛 (札幌南)
 (数 学) 斎 藤 国 夫 (札幌啓成)
 (理 科) 武 智 省 三 (札幌西)
 (保 体) 木 村 隆 一 (函北)
 (芸 術) 千 葉 正 信 (福島商)
 (英 語) 細 谷 猛 (札幌南)
 (家 庭) 川 原 イ ト (札幌東)
 (農 業) 清 水 小 十 (俱知安農)
 (工 業) 中 神 肇 (札幌琴工)
 (商 業) 友 田 義 潔 (小樽商)
 (水 産) 斎 藤 一 郎 (小樽水)

〈昭和48年度〉 — 北海道高等学校教育研究会 — 〈本部事務局組織〉



区分 部長	庶務部	研究部	編集部	組織部	会計部
分担	増田 忠二郎	柴田 雅美	沢田 正巳	桜井 文雄	齋藤 泰三
担当	西田 裕 滝沢 光郎 松井 敢二 説田 猛夫 武藤 英猛 森崎 節子 山崎 令子 片桐 子	高田 裕幸 酒井 浩皓 松田 五郎 稲田 亮一 菅野 敏彦	川治 静信 由利 一之 森田 太郎 真田 達雄 岩田 享子 細田 康弘	山崎 滋樹 尾崎 弘樹 吉田 功靖 竹谷 紀靖 高橋 勝昭	齋藤 文明 能藤 ハツエ 山田 渥子 杉野 哲久
業務	1. 諸文書作成、発送 2. 諸文書記録、整理、保管 3. 諸資料の整理保管 4. 諸会議の準備	1. 教科部会、地区支部との連絡を強化し、研究を促進する。 2. 研究発表、紀要研究調査の集計調整 3. 編集部との連絡	1. 会報、研究紀要の編集、印刷、発送、整理、保管 2. その他の出版物の編集、印刷 3. 研究部、組織部との連絡	1. 会員登録名簿の作成 2. 会員数統計（地区、教科、学校別） 3. 会計部との連絡	1. 予算書の作成 2. 金銭出納 3. 物品の購入、借入の業務

(編集後記)

会員の皆様方には、夏季休暇前の多忙な毎日をお越しのことと思います。さて、本年度事業の第一陣を承って「会報19号」をお手元にお届け致します。本年度計画の全貌が詳細に掲載されておりますので、十分にご覧頂きたいものと思います。なお、本号には本研究会の中核ともいえます「研究紀要11号」と「研究調査」の募集要項も精しく出て居りますので、特に御留意の上、振って御応募下されれば幸いと存じます。所で、本号から会員全員に会報が配付出来る事となりました。編集部のかねてからの念願であり、大変嬉しく存じております。

〈編集部 沢田〉